

三〇〇三番

夕月夜ゆふづくよ 暁闇あかときやみの おほほしく 見みし人ひと故ゆゑに 恋こ
ひ渡わたるかも

三〇〇四番

ひさかたの 天あまつみ空そらに 照てる月つきの 失うせなむ日ひ
こそ 我あが恋こひ止やまめ

三〇〇五番

十五日もちのひに 出いでにし月つきの 高たか々たかに 君きみをいませて
何なにをか思おもはむ

三〇〇六番

月夜良つくよよみ 門かどに出いで立たち 足あし占うら 行ゆく時ときさへ
や 妹いもに逢あはざらむ